CLASSIC CAMERA -2

編 集：大脇 直
発行元：カメラサービス鹿児島

MAGAZINE Kagoshima

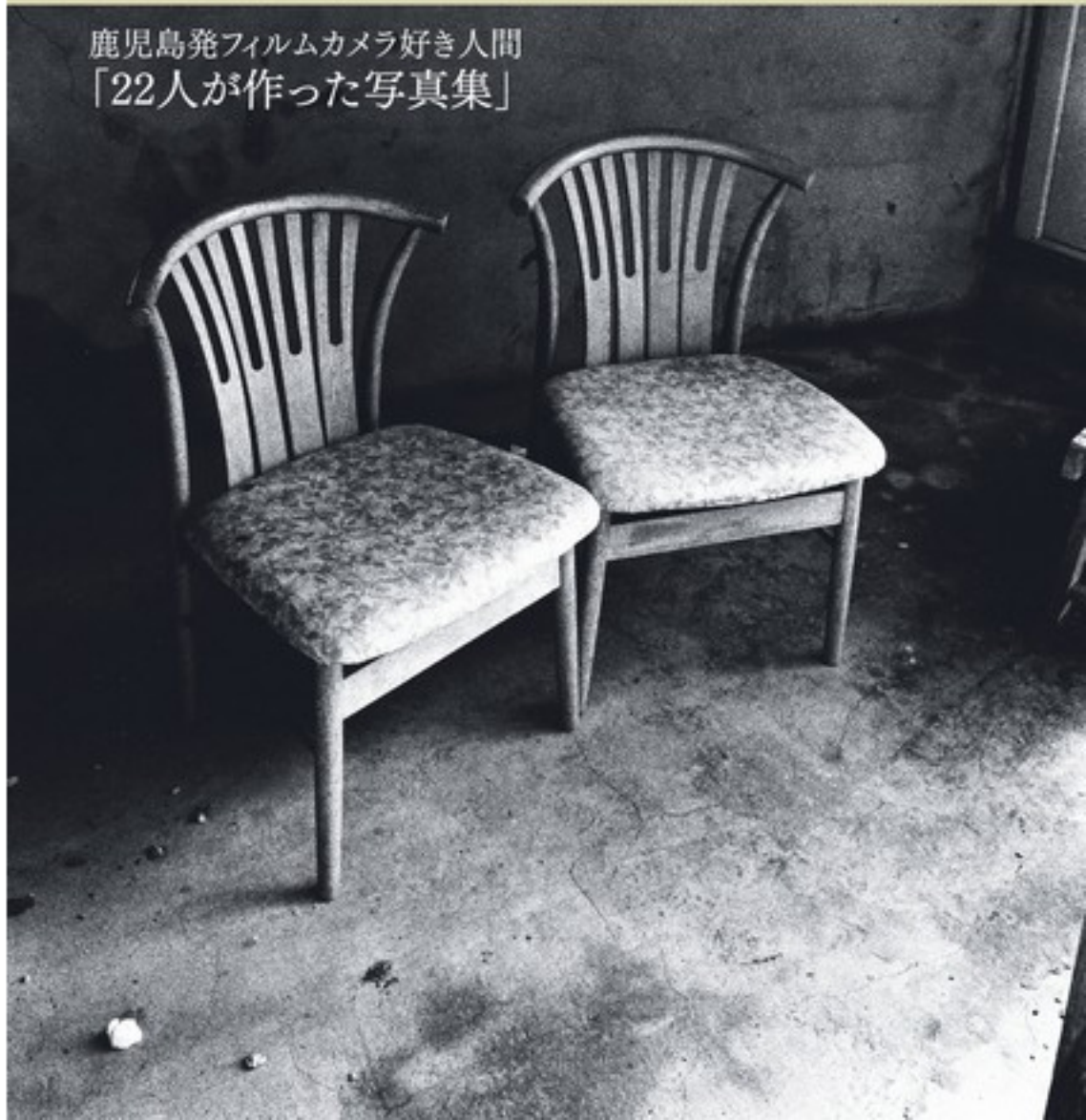
✶ 鹿児島発フィルムカメラ好き人間
「22人が作った写真集」

CLASSIC CAMERA

vol.2
FREE MAGAZINE

MAGAZINE Kagoshima

鹿児島発フィルムカメラ好き人間
「22人が作った写真集」



CONTENTS

01	奥 敬志	KC Films
03	浜崎 健	想像する楽しさ
05	吉岡 康弘	CLE的6x6判カメラニューマミヤ6
07	赤城 耕一	Double Image
09	イガワ ショウタ	キヤノンA－1をハーフサイズカメラへ改造中！ PART 2
11	MOMO KISS	一枚に思いを込めて
13	大脇 直	またカメラが増えた！
15	可否	フイルムで撮る
17	大庭 学	カメラ目線な子供たち
19	RYO	空気感を写したい
21	西脇 巧	家族の肖像
23	今村文子	祖父のカメラ PART 2
25	よしながけいすけ	PENTACON six と東のZeissレンズで遊ぶ
27	西脇 浩之	写真機の魅力
29	松原 寛人	想像し創造する
31	シンさん	ss 1/500 HALF SIZE LOVE
33	カワノ ケンタロウ	FUJICA SIX
35	コセリエ	コ セ リ エ
37	下吹越 浩人	オッショイ
39	新井章広	記憶の記録
41	岡元剛志	しののめぶるう
43	松下写真事務所	on the road
45	DARK ROOM TRIP in 山本和男	
47	編集後記	

CLASSIC CAMERA -2
MAGAZINE Kagoshima
鹿児島発フィルムカメラ好き人間「22人が作った写真集」
表紙 photo：吉岡康弘 MINOLTA CLE 28mm F2.8 TriX

店舗移転のご案内

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて弊社は平成22年4月1日より店舗を移転する運びとなりました。
新しい店舗では、中古カメラ展示や多目的スペース等を設け、皆様にゆっくりとおくつろぎいただくことが可能です。
店舗移転後もこれまで通りカメラ修理業務に精励し、お客様に信頼して頂けるようなお一層努力する所存でございます。
まだまだ行き届かないところはございますが、中古カメラ販売・メディア変換・映像編集・貸し暗室等の業務賜ります。
今後とも末永くお付き合い頂けますようスタッフ一同心より申し上げます。

敬具

平成二十二年四月吉日　カメラサービス鹿児島

※上記修理修理工料には部品代等含まれておりませんので、部品追加の場合は金額が異なります。
その他設定修理等の場合も金額が異なります。

カメラサービス鹿児島

〒891-0113 鹿児島市東谷山1-2-3 サンパティーク東谷山2F
TEL/FAX 099-837-8556
http://cs-kagoshima.info/

2009 summer.
あるカメラ屋さんにて、ダンボールの中にジャンク品として入ってたこのカメラ。
めちゃくちゃよごれてたけど、一目惚れして購入。帰って電池入れてみたら
すぐ動いた(笑)
それ以来、休みの日は常にこいつが隣にいるのでございます。たぶん。

CAMERA: ASAHI PENTAX ME
LENS: SMC 50mm f1.4
FILM: やすいやつ。

1987 / 29 奥敬志
フリーカメラマンを始めとして
写真スタジオに勤務・活動中。

kCfilms. http://kcfilms.exblog.jp/

”想像“する楽しさ。”適当“が丁度良い面白さ。

NEOPAN PRESTO 400 1/200 F5.6

休みの日は外に出て、色んな景色を見にあちこち走り回るのが趣味の一つ。その足が気分にもって自転車だったり、バイクだったり、車だったり。（今はバイク無いけど…）そしてその日の思い出を残しておくれるのが、自分にとってのカメラの役割です。だからどこへ出かけるにもどれか一つ手元にカメラを持っています。だけど、困ったことにサイクリングする時に持っていくようなコンパクトなフィルムカメラって今まで持ってなかったんですね…でも、そんな時に偶然カメラサービス銀座島の店内で見つけたのが、この「Welmy 6」。小さいし、軽いし、何より開蓋を開けた時の「カシャンッ！」って音がイイんです！！あと、見た目もカワイイ♪中判の6×6フォーマットというのにも運命を感じて、その場ですぐに購入決定。（※「Welmy 6」を含めて現在6個のフィルムカメラを所有。その内6個が中判カメラ、6×6フォーマットは3個）

あと、使用してから気付いたレンズの描写ですが、周りが流れて真ん中だけピントが合うという面白さがあるんです。それが、想像していなかった写真が撮れてる時は思わず「おおー！」と脱を組んで見入ることもビンボクもかなり多いけど…）

結構古いカメラですけど、ずっと使っていたいと思う面白いカメラです。

浜崎　健　　昭和57年生

写真で持っている「RB67 Pro SD」と比べると「Welmy 6」はまるでおもちゃみたい。
中判カメラに夢中の28歳。

Welmy 6

大成光機「Welmy 6」　昭和26年生
小さなスプリングカメラ「Welmy 6」
ピント合わせは目測。
あまり考えずに適当に撮るのが楽しい。

CLE的 6×6判カメラ ニューマミヤ6

「ニュー」とはなんとも名付けないネーミングだと思います。まるで田舎のパチンコ店みたいです。今風につけるとしたら5マミヤ6マークツーといった感じでしょうか。デザインもそれはどよくないこのカメラに惹かれる最大の理由は二重像合致式のピント合わせのレンジファインダー機であり絞り優先のオートが使えるところです。このカメラを入手した当時はレンズ交換ができるレンジファインダー機で優先のオートが使える機種は生産を終了してしばらくたっていたミノルタCLEだけでした。ニューマミヤ6の交換レンズは標準、広角、望遠の3本だけという潔さです。このあたりもCLEと似ています。ファインダーの見え方やそれぞれのレンズの描写も満足しています。といっても望遠はほとんど使ってませんが。とても使いやすいカメラではほとんど不満はないのですが、巻き上げ、各ボタンやダイヤル、測光録の関閉レバーの動き、決断の際の動きなどの感触がよくない点が気に入らないところです。これらの動きがすべて滑りなくゴリッとした感じです。そのことが元で撮影できなかったことなどないのですが気になります。

何年か前にニューマミヤ6を持って中学時代の通学路を歩いたことがあります。日曜日で学校には生徒も先生もいませんでした。1、2年生の時期を過ごした半円形の校舎はもう使われてないようでしたがひっそりと静かにたっていました。この校舎が建てられた頃は子供の多い時代でしたので円形にしたのは少ないスペースになるべく多くの生徒を入れるための工夫だったのでしょう。扇形の教室で窓が後方にしかないために風通しがとても悪い変な校舎でした。夏の暑い時期には子供たちの熱気と汗の臭いでムンムンしていました。懐かしさを感じながらアタリを歩きました。校舎の入口はすべてベニヤ板で塞がれていて中に入ることはできませんでした。イスが放置され、水飲み場や掲示板が昔のままありました。

ニューマミヤ6　75mm/F3.5　50mm/F4　Tri-X

吉岡　康弘
1968年 奄美市生まれ
16歳で初めて暗室を経験しそれは後モノクロで写真を撮っている。

ニューマミヤ6
75mm/F3.5
50mm/F4
150mm/F4.5

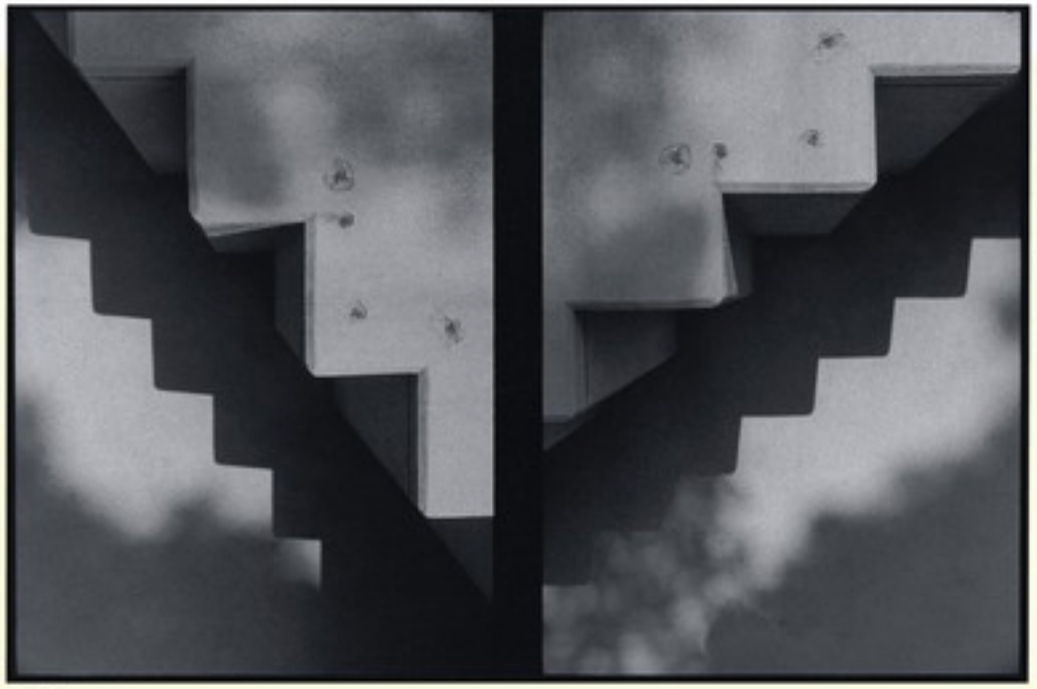
Double Image

2009年登場のオリンパスE-P1が火をつけたマイクロフォーサーズカメラブーム。懐古的なデザインと、レンズアダプターによるお古レンズ遊びが手軽にできることが、人気の秘密らしい。

しかし、私などは天の邪鬼だから、こうしたブームに乗じていちフリをしつつ、ウラでは、本家本元のハーフサイズ二眼レフ、オリンパスペンFシリーズが再び気になりはじめていた。

しばらく眠っていたペンFをおそるおそる引っぱりだし、シャッターをそうと切ってみると、ロータリーフォーカルプレーンシャッターの大きな音を響かせて、私に元気である旨を告げた。さっそく撮影に連れ出すことにする。

現像したネガを見ると、隣同士のコマが共鳴しあっているように見えた。とても1コマだけを選び出すことはできない。隣り合う2コマを一枚の印画紙に焼き付けてみる。なるほど、世界はやっぱり繋がっているのである。



使用機材
オリンパスペンFT / ペンF(メディカル仕様)　ズイコー38ミリF1.8、ズイコー20ミリF3.5 トライX、イルフォード100デルタ

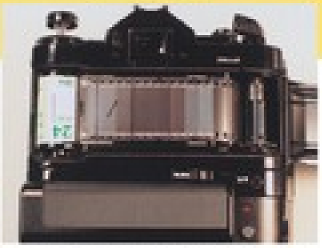
赤城　耕一 koichi-Akagi

写真家。1961年東京生まれ。東京工芸大学短期大学部卒業。出版社を経てフリー。ルポルタージュからポートレート、コマーシャルなど撮影分野は選ばず活動の分野は広い。根っからのカメラ好きのため、使用しているカメラは最新のデジタルカメラから70年前のライカまでとまるで節操がない。『アサヒカメラ』などで新型カメラインプレッション記事、メカニズム記事を担当。カメラを情緒的に語るのは得意。DVD『コシナ・フォクトレンダーのすべて』(メディアジョイ)に出演。

著書に『カメラ至上主義!』(平凡社新書)
『使うM型ライカ』(双葉社)　『使うペッサ』(双葉社)
『使うハッセル』(双葉社)　『使うオリンパスOM』(双葉社)
『定番カメラの名品レンズ』(小学館)
『ドイツカメラへの旅』(東京書籍)など。

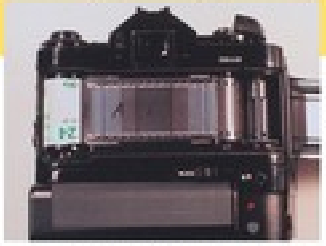
キヤノンA-1をハーフサイズカメラへ改造中！ PARTⅡ

〜あなたのカメラもハーフサイズにできますよ編〜



前もってパーフォレーション4穴毎に印を付けておき、本体側の印と併せて再装填時の目安にしておきます。1順目を撮り終えたらベロを残し損ねない様に気を付けて巻戻します。

再装填前に、上図の様にフィルムを切取ります。①露光位置をずらして装填するので、パーフォレーション4穴分（1コマ分）をカット ②のままでは装填しずらいので上端もカット。



2順目も1順目と同じ位置に印を合わせて装填します。撮り終えたらそのまま巻戻して現像すれば、あら不思議！ハーフサイズネガの完成です。

ハーフサイズの魅力、その最大の醍醐味とは、コンビニ同時プリント735円にて怪訝な顔をしている店員のお姉さんから何喰わぬ顔で80枚近い印画紙の束を受け取る時にこそ尽きる。流石のデジタルも1枚10円以下のコストには到底敵うまいとほくそ笑むときに訳もなく愉快な気分になるのである。

そもそも、36枚撮りで72枚撮れるという事は素晴らしいのであり、それだけ撮影の機会を得られるのだから失敗を恐れずシャッターを切れ、いつもと違う新しい方法・変わった視点に気負いなく挑戦できるのだ。

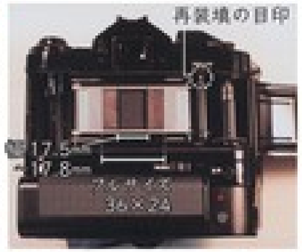
現像代は1本分で済む上に、必要な分だけ選んでプリントすれば、とっても経済的に楽しめるではないか。そうして磨いた腕や感性と節約したお金を大きなサイズのフィルムに反映させれば、より豊かな写真生活を送れるというもの。

しかし、残念な事にハーフサイズカメラの現行機種はすでに無く中古品をあたるしかない。また、それ一台の中に機能を完結しているカメラばかりで、知恵と工夫を頼りにしても撮影システムの拡がりや性能・機構に物足りなさを感じる。もっともっと積極的に「撮る」を楽しみたくとも中々叶えられないのである。無いものねだりも仕方ないので、無い知恵絞って作ってしまえと誰でもできる方法にて夢のカメラを作ってみました。

通常のカメラは巻上げ一ストロークでシャッターチャージとフィルム巻上げを完了する様に作られている。それを純然たるハーフ仕様に仕立てるのは物理的に可能とは言えるものの加工技術や部材強度等の問題から大変敷居の高い改造になるだろう。

"そこで発想の転換！"

単純にハーフ版の覆いを掛けるだけでそのまま撮ると、フィルム送りの関係上ハーフ版36コマ分の間伸びした櫛の歯状ネガになる。これでは只の無駄遣いでしかないが、よく見てみるとコマとコマの間はハーフ版1コマ分収まる寸法になっているのだから、そのスキ間を露光させる様に装填しなおして撮れば、隙間なく並んだハーフ版72コマの立派なネガを得られるではないか！



但し、この方法をとるには一定の要件を満たしていなければならない。

まず、背面蓋付の巻上げスプールと巻取りスプールの2本を独立して備えていること。次に、巻上げに連動する以外、巻上げスプールは常に固定されていること。最後に、巻取りスプールに直接フィルム端を掛けられることの3点である。

EOSシリーズなどの巻取り一軸兼用型ではコマずれを起こすのでこの方法は使えず、オートローディングやキヤノンQL機構は装填時の位置決めに手間取るので実用性に欠けれど、要件さえ満たしていればライカでもニコンでも、ハーフのペンですらハーフサイズカメラに化けるので是非次章からの方法を参考にして戴きたい。

フィルムガイドを越えず、僅かに低い厚手の紙を切ってハーフ版のマスクを左右に取り付けます。内面反射防止に黒く塗りましょう。

ガイドより高いとフィルム傷の、低いと光線漏れの原因となります。端をパーマセルテープやマスキングテープなどで留めて、且つ浮き上がり防止に両面テープを使って固定します。セロハンテープは硬いので、フィルムを傷める恐れもありますし、耐久性も低いので使わない方が良いでしょう。開口部寸法を縦の24mm×18mmにすると、コマ端カブリを起こすため、幅は17.5mm〜17.8mm程にしておきます。また、毛羽立った切り口のままだと繊維まで写り込みますので要注意です。

視野フレームをフォーカシングスクリーンに入れます。表裏どちらの面に入れても大丈夫です。視野率や倍率なども無視して構いませんので、スクリーン中心部から左右9mmずつの平行線をケガキ針や、シャープペンの先を研いだもので引きます。傷の付き易い素材ですし、代わりは中々手に入らない物ですから、失敗しない様に気を付けて作業しましょう。

A-1を学生の頃アルバイトをして買って以来、幾つ物もの思い出を一緒に記録してきた。FDマウントのレンズ相場は他に比べて低く、FL・Rマウントに到っては捨値同然であるから、キレ味抜群のキヤノンレンズを気軽に楽しめて、短いフランジバックの恩恵に預かったマウントコンバーター選びで、古今東西の銘玉・ケモ玉も選り取りみどりと飽きることはない。

ハーフ化してからも、AEのお陰で72枚を中だるみせずにテンポ良く撮れ、秒間5コマのモータードライブや交換式ファインダー・スクリーン等、充実したアクセサリー群の後押しもあり、更に楽しい事にハーフ版マスクの副作用で見掛け上シンクロスピード向上というおまけまでついている。

心配していた画質低下は、イメージサークル中心部使用とフィルム性能で十分にカバーできているから殆ど気にならず、ハーフ専用ではなく飽くまで普通のレンズの画角を強引に切り取っているのだから、大口径標準レンズは、そのまま大口径中望遠に、望遠は当然の事ながらより望遠に、広角レンズは画角こそ狭くなるものの、独特のパースペクティブや歪みを個性に残した不思議な準広角に化けるのだ。

コマ送りも半分なら、交換だけれども、マスクを剥がすだけで元に戻せるから使い分けできるという事にしておくとして迅速なフィルム交換・再装填をできる様に腕を磨き、あたかも普通のカメラの如く扱えれば笑いの止まらない楽しい毎日を過ごせるでしょう。

カラーネガを使ってハーフを楽しむ時に気になるのは現像とプリントに関するインフラについてだと思う。基本的に現像とプリントはどこでも受け付けて貰え、料金もフルサイズと変わりません。また、冒頭に述べたコンビニやスーパー、クリーニング店等の同時プリントの店でもハーフ版だからと断わられる事や、謳ってある金額以上を請求される事等、まずありませんから大いに利用しましょう。

ただ、モノクロやリバーサルならともかく、カラーネガを72コマ判別するのは一苦労、インデックスプリントさえあれば整理・選別に大活躍なのですが、どこのカメラ屋さんでも設備や大人の事情でハーフ版のインデックスプリントは作って貰えません。

そこで、私の我まま交渉と店員さんの全面的な御協力の結果、荻窪駅南口では中部写真館の『樋口カメラ』にて、通常のハーフでも横の両ハーフでも通常と変わらないお値段でインデックスプリントを作って貰える様になりました。

是非とも御利用下さいませ。

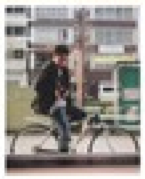
● 純正・社外流用で一味違う My Favorite Camera ●

- フルの横位置はハーフの縦位置、ハーフの横位置はフルの縦位置
- なので、殆どのMF一眼レフに採用されている「一文字スプリット」
- ではピント合わせに手間取る事もしばしば…。（その点、ナナメ形ス
- プリットやマイクロプリズム・全面マットは良いですね。）
- そこで、小技を効かした純正流用「改」です。
- キヤノン唯一の"十文字スプリットスクリーン"を装備しているT80
- からスクリーンのみ取り外し、A-1のスクリーンと入れ替えるだけ！
- ネジ1本30秒で交換できちゃいます。
- これで、縦も横も使い易いカメラに早替わりです。簡単でしょ？

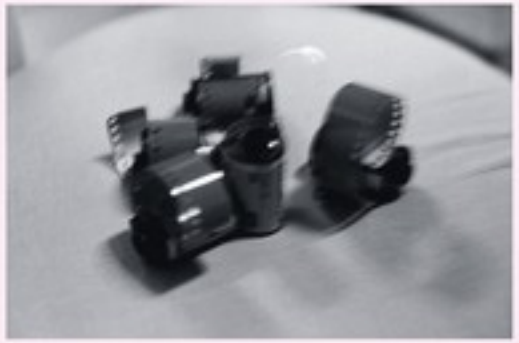
縦位置・横位置 縦横無尽の なんのその！

イガワ ショウタ 1985年生

大口径レンズ関数好き。
むしろ前玉さえ大きければF値関係なし！
お魚売場でキンメダイのつぶらな瞳にうっとり。皆様の生暖かい目に見守れながらすくすくと成長中の24歳。



感じたままに…



PENTAX ME SUPER

カメラサービスさんで買って2年、常にわたしと行動を共にしているカメラです。
ファインダーから見える世界が明るく、思ったままにシャッターを押してしまいます。

MOMO KISS

東京下町育ち

第一号のころより、変わった性格もだいぶ緩和され、大人(?)になりました。アンティークの物も増える一方で、ショップができそうなくらいです。

SNAP ■ PENTAX ME super

白いアンティークレース

一枚に思いを込めて

あなたが強い選手であることを知っています。
あなたが困難を乗り越えられることを知っています。

これは、有名なスケート選手にむけたコーチからのメッセージだ。私は、この言葉を目にし、第2号のために用意していた原稿をすべて書き換えることになってしまった。

一見、写真とはまったく関係のない文面に思えるかもしれない。しかし、つたない文章にお付き合い頂きたい。
隣のページにある写真を撮っているまさにその時、私は仕事のことで未だかつてない壁にぶつかっていた。いや、正確には今も…である。厚く、高く聳え立つ壁を壊せずにいるのだ。強い精神力を持っていると自負していたにもかかわらず、なんと生まれて初めての「眠れない夜」を経験してしまった。新聞配達のバイクのエンジン音を聞いてから眠りにつく日もあった。そんな時に、楽しげな写真など撮れない。と一瞬頭をよぎったが、逆に"今の私の心を写し出すもの"があってもいい。と思いシャッターを切った。

人間、生きていると様々な困難にぶつかる。愛する人の死だったり、子どもが病気になったり。仕事で悩んだり。しまいにはそれらすべてが一緒にやってきてしまい、なんとも思い通りにいかない。それでも、毎朝、私を気持ちよく送り出してくれる両親や、高校生になってもかわいい息子は私にとって大切な家族。そんな皆の笑顔が見たい。そのためには一つ一つの壁を乗り越えて前進して、どんなに理不尽なことが起ころうともそれに負けてはいられない。だからといって、人に媚びたり自分らしさを失ったりするのではなく、強い矢が適当なシナリをもつように、心を柔軟に保ち、自分のなかにある大切なものを守り抜いて行きたい。

モノクロ写真の「白」を見て、潔く生きていきたい。とつくづく思った。技術は全くないが、写真をやっていて良かったと思う。技術より愚痴が多い私に、ここに集う仲間はあたたかい。近い将来、彼らはきっと私の写真を見て「そんな日もあったね〜」と焼酎を片手に笑い飛ばしてくれるだろう。そんな仲間に感謝の気持ちでいっぱいだ。柄にもなく涙が出そうになる。

カメラに入れるフィルムは
その日の気分で、リバーサル・
ネガカラー・モノクロと使い分けるが
最近、行き着けの現像所が
リバーサル現像をやめるらしい。
さびしい限りだ。
時代の流れなので仕方ない。
「地産地消」ではないが
地元での現像処理を望みたいものだ。

カメラサービス鹿児島さんが移転されて
新たに暗室を開設されるので
昔を思いだして、このカメラで
モノクロ回帰してみようかな。

Profile

大脇　直

1958生まれ
印刷会社勤務。
仕事はデジタル。
趣味はフィルムカメラ。

camera
キヤノンEOS-5
1992年発売

またカメラが増えた！

カメラ店のウィンドーを眺めていたら、
コイツと目が合った。
昔憧れたカメラがこの値段かと
かわいそうになり連れて帰った。
早速リバーサルフィルムをセットし、
被写体を求めて陶芸家の知人宅を訪ねてみた。
いい感じに時を重ねた陶片が散らばっており
思わずレンズを向けた。
後日、フイルムの上がりを
ルーペで確認し大満足。
全てオートで撮影してみたが
ほぼ適正露出のようだ。

クラシックカメラなのかと言われれば
金属カメラでもないし
中途半端なポジションかもしれませんが
自分の中では大いに「アリ」です。

『フィルムで撮る』

人、花、犬、風景…
フィルムで撮る
デジカメじゃない、色、粒子、ラチュード。
わざわざデジカメより手間のかかる作業に
一喜一憂するのがよくない？
あー…ピントが…露出が…現像して
結果発表に趣味性…。
いや、デジカメでもいーんだけど
さぁ、趣味で撮るぞ！って時に
その場で確認できちゃうと
なんだかなぁー…。
形から入ってもいーでしょ？　だから

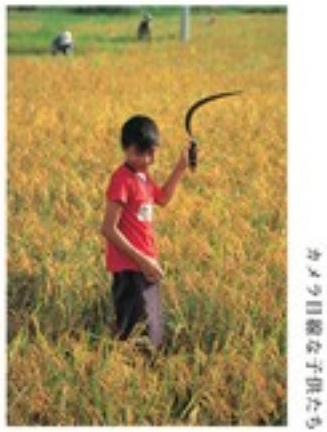
フィルムで撮る。

●ミノルタα807si
●AF100/2.8 MACRO
●AF50/1.4
●AF16/2.8

可否

ブライダルや広告ポートレート・イベント記録など主に人物写真を撮る。最近ではイベント関連・プロモーターなども手がける。

Pamplona



カメラ目線な子供たち

Profile

大庭　学

1971年10月12日生まれ
2009・2010年「島景」写真展
市立美術館にて開催
スタジオ写楽　勤務

ライカ M6
TTL

PHOTO TOUR ■ MAMIYA 645

空気感を写したい 日南・飫肥城にて

＊

飫肥城本丸址

MAMIYA645 80㎜ F2.8・F2.8・1/30・100PRESTO

飫肥城下町にて

MAMIYA645 80㎜ F2.8・F2.8・1/60・100PRESTO

飫肥城下町にて

MAMIYA645 80㎜ F2.8・F2.8・1/60・100PREST

アナログ世界に回帰傾向路線人

クラシックカメラを手にするようになってから、自分の周りの風景が随分変わった。空気感が違うというべきか。

わたしが好きな場所がある。それはとても古い神社の境内。街の中にあるのに周りの喧騒がなぜか聞こえもしない静かな空間。

聞こえるのは、樹齢何十年にもなる大きな木々が風に吹かれる音だけ。

もしそんな自分のお気に入りの場所を撮るにはデジカメでは臨場感さえ拘ぐだろう。

やっぱり自分が好きな物や心に触れた風景は銀塩写真でないと意味を失いそう。

プロセスのない便利なだけなものに価値を見出せない。自分の心を託せない。

ハイブリッドカー、エコカーにときめかない。

たぶん移動の道具としてなら優秀なのかも。

車は約百年に渡って、人の夢を運んできたわくわくする相棒。エンジンという熱いハートを持った生き物。イタリア車なんかは、グロリアスな声さえ聞かせてくれる。

冷蔵庫と同じ電化製品のようになっていく車は、そのうち量販電気店に並ぶようになるのだろう。

デジタル化したカメラのように。

＊

RYO 1962年生まれ

なかなか写真の腕はとがりませんが、自分なりにカメラや写真に向かっている時間があることを幸せに思っています。

今回は、昼下がりの飫肥を撮影するのに、愛車の"蛇に十字架号"でかっ飛んで行ってきました。撮影滞在時間は約2時間。短かったわりには撮影自体に集中できて楽しみました。おみやげのおび天も美味しかったにゃ〜。

マミヤ645

ほ兄弟から譲ってもらったカメラですが、ほとんど出番がなく眠っていました。今回撮影してみてストンというシャッター幕が下りる音とおじぎするような撮影スタイルにすっかり虜になりました。

家族の肖像

私はこれまでに1・000枚を超えるカットを撮影しています。ポジ・ネガフィルムの6~7割は子供達が主役の家族写真です。

フィルム面に記録された映像から残つもの思い出が蘇り、私にとってかけがえのない宝物です。

写真には、撮影者の心が写っているように思います。被写体とどう向きあっているか、その思いが「写真」の文字に表れているのではないでしょうか。

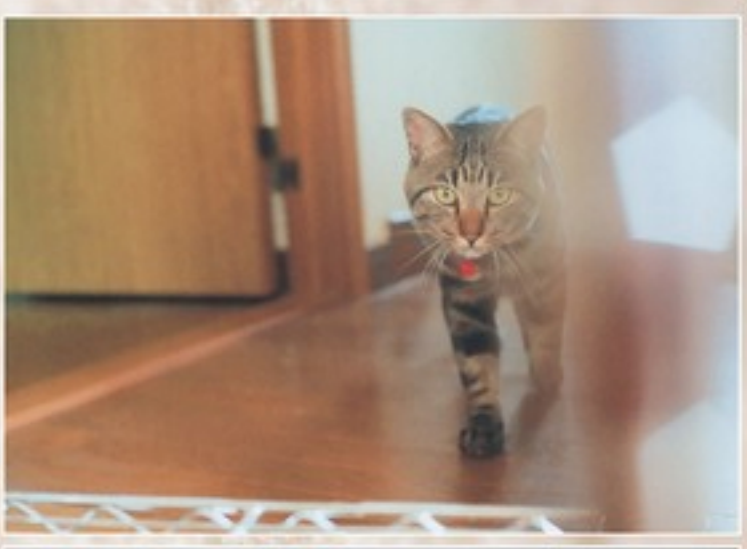
失敗したひとコマもその思いのかけら。決して無駄なコマはないと感じます。

家族の肖像を撮る事が、私のライフワーク・大好きなクラッシックカメラで、これからもフィルムというタイムマシーンに乗せて行こう。

ニコンF3
80年代を代表するカメラ
シャッター音や操作が滑らか、又モータードライブ*の巻上げ音も最高です。
特に、超望遠レンズ装着時の滑いた巻き上げ音は格別です。

西脇 巧 S42年生まれ

エアーショーの魅力にはまり、フィルムカメラで 被写体を追いかける、最近は暗室にはまりそう。フィルムカメラ大好き人間。



今村　文子

大学時代に写真サークルに所属した事が始まり。卒業アルバムの製作にも携わる。長く写真から離れていたが、暗室への想いを募らせカメラサービス鹿児島のホームページを発見。カメラそのものへの興味は薄いのですが、この集いに参加していて良いのでしょうか…？（笑）

Canon QL 17

祖父が生前愛用していたカメラが復活して1年が経ちました。30年間の眠りから覚めて見る世界は眩しいのか、あがってくる写真はうたた寝から目覚めた時のような光溢れる世界。肉眼で見るより、ずっと神々しいから不思議です。このカメラで撮る度に新鮮な心持ちになる、幸せな瞬間です。

PENTACON six と東の Zeiss レンズで遊ぶ

Photo & Text / 吉永圭介　Keisuke YOSHINAGA

休みの日は、お気に入りのカメラを提げてふらっと旅に出るのが好きだ。前日からカメラバッグにどのカメラとどのレンズを入れていくかでしばし悩む。これも楽しいひとときである。遠足の前日に、おやつは何にしようか悩む小学生と同じ感覚だ。

持っていくのはいつもフルマニュアル機のみ。被写体に向かって露出とフレーミングを決めてじっくりピントを合わせる瞬間が至福のときだ。この楽しみが奪われてしまうデジカメやオートフォーカス機は、どうも仕事以外では使う気になれない。

街や農村、山や海などいろんなところへ行くが、とくにテーマは決めていない。印象に残るシーンに出会うと迷わずシャッターを切る。それは人の気配だったり、風や光、なんともいえない雰囲気だったりする。イメージ通りの光景に出会えたときの感動はなんとも言えない。自分でフィルム現像、プリントまでやるので、撮影を含めて3回の感動を味わうことができる。

最近よく使うのは、東ドイツはペンタコン人民公社製のペンタコン6。昨年イーベイという国際的なネットオークションで落札した。6×6判の二眼レフで昔に東のハッセルブラッドとも言われる。ハッセルのように奥行きがないので、意外に持ち運びしやすくスナップには使いやすい機種だ。ハッセルブラッドにはツァイスのレンズがあるが、ペンタコン6にも一応ツァイスレンズが用意されている（東のツァイス・イエナの方だが）。ツァイス・イエナのレンズは東というだけで値段も安いが、性能は意外によくて、いろんな種類が用意されている。手頃な値段で入手できるので、いろんなレンズをつけてペンタコン6で遊んでいる。

福浦の夕日（熊本県芦北町）　PENTACON SIX TL • Carl Zeiss Jena Tessar 80mm F2.8　F11 • 1/250 NEOPAN400 PRESTO

夕焼けだんだん（東京都）

総屋町（熊本県人吉市）

谷中（東京都）

人吉城跡（熊本県人吉市）

Profile
よしなが　けいすけ

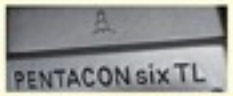
1978 年生まれ。熊本県八代市在住。
2005 年、学生の頃に金属カメラの独特の質感とモノクロプリントの美しさに魅せられ写真をはじめる。以来、クラシックカメラにモノクロフィルムのスタイル一筋。街や路地裏を歩き印象に残ったシーンを撮ることが多い。
旧ソビエトや東欧のカメラには目がない。オークションサイトeBay http://www.eBay.com/ でカメラを探していると、つい時が経つのも忘れてしまう。

本日のカメラ

PENTACON six TL（ペンタコン人民公社製）

Carl Zeiss Jena Tessar 80mm F2.8（左上）とFlektogon 50mm F4.0（左下）をつけたところ。ロゴの上にはペンタコン人民公社のシンボル、エルネマン塔のマークがある（左中央）。

ウェストレベルファインダーをのぞいたところ（右下）、もちろん左右逆像になる。アイレベルファインダーをつけると普通の一眼レフと同じ構えになる。二眼レフと違い近距離の被写体でもパララックスを気にせずに撮影できる。クイックリターンミラーではないのでシャッターを切るとブラックアウトする。その分、ミラーショックは少ないと思う。



写真機の魅力

巻上げレバーでシャッターをチャージする、ファインダーをのぞきピントを合わし、シャッターボタンを押す、掌の中　一瞬で全ての機構が動き、レンズを通った光がフィルムに記憶される！
この小さい機械に魅せられて何年かな？
最近は撮影より、もっぱら収集に火がついてしまい中古写真機が増殖中。
今年念願のF3LTDを手に入れました。いいね！今宵も焼酎が美味しい。

ミノルタ High Matic 7s

Nikon F-4

テーブルに写真機を並べ、一台手に取り空シャッター、カシャツ!レンズシャッター、横走り(布、チタン幕)、縦走り、それぞれの音もたまらんねぇ。
今夜も焼酎のツマミにして…。

西脇　浩之

時計は自動巻き、音楽はレコード、そしてカメラはフィルム。
アナログから変われない昭和39年生まれ。

【使用カメラ】
ミノルタ High Matic 7s
ニコン F-4
ニコン F-5

ミノルタ High Matic 7s

Nikon F-5

Nikon F-4

SOUZOU

私が修理で大切にしていることは
カメラのことやお客様のことを
そうぞうすること。

CAMERA SERVICE KAGOSHIMA
HIROTO · MATSUBARV

PENTAX MZ-S
SMC M 50 1.7

MY HAND TOOLS

共通データ　T-MAX400　三脚使用

想像する為には修理の内容を把握し、そのカメラの歴史や内部構造操作フィーリング・膨大な情報を構築することが大事。
またお客様からお預かりした、大切なカメラである為、決して傷や過失があってはならない。

その為には、常にお客様の気持を考え、丁寧に心を込めて確実な修理を心がける。
この取り組みこそ、カメラが蘇る第一歩であると私は信じている。

想像し　創造する

S$ 1/500

HALF SIZE LOVE

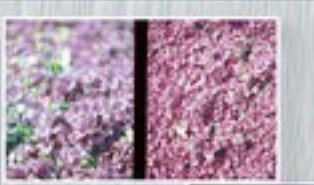
(21,18) 横浜駅におなじみのあのロゴ
この2枚がもどんな物語を想像するかな？

アラミロー (21,23) たくましく生きてるな～

(21,18) 誰かキャッチボールしようよ

(?) なんか楽しそう（犬目）

横浜グランド (21,4) ノーフメント



シンさん (1979～)

なにも特に大きな事は成し遂げていないけど、とうあとすぐ中心に落ちてきます。
今は、サンクさんに広角レンズを願ってます。
http://twitter.com/ean/jin

知人からの頂き物。「カメラが好きならあげるよ!」と言われ、二つ返事で「ありがとうございます!」というノリで私のもとにやってきました。頂いた時は蛇腹破れなど、ジャンクな感じでしたが、その美しい軍艦部のフォルムに魅了され、カメラサービス鹿児島さんでOH。試写してまたびっくりの写りのよさに大満足。露出計も距離計連動も無いけど楽しく撮れるカメラです。こいつとの出会いから古いカメラを求めてさまよい歩く日々が始まりました。

カワノ　ケンタロウ
鹿屋市在住。高校生から写真を始め、途中でデジタルに浮気。
祖父の遺品のFE2のオーバーホールをカメラサービス鹿児島さんにお願いしたことを機に再び銀塩へ。
現在カラーネガプリントにも挑戦中。

ふ　と見上げた空の　木の枝が　血管に見えた時

風景写真も　生き物を撮っているんだと　初めて思った。

地球の呼吸が聞こえる気がした。

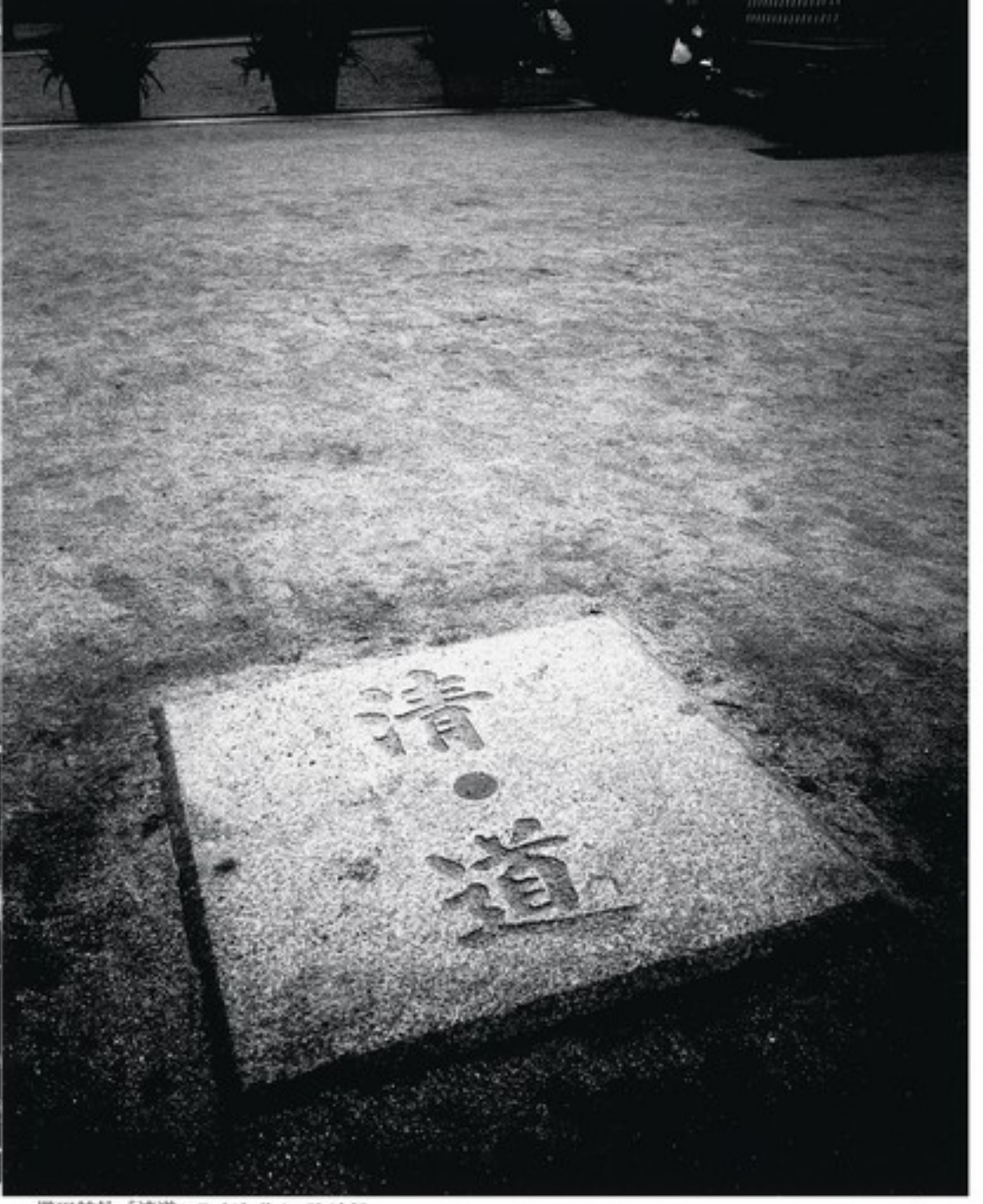
つまらないと思っていた風景写真をおもしろく感じた瞬間だった。

コセリエ

1984．12.15生まれ
スタジオ勤務後
フリーカメラマンとして
鹿児島で活動中
http://earthartphoto.blog103.fc2.com/

使用したカメラ
Nikon FM2

柳田神社「飾り山」*Kushida Shrine "Kazariyama"*



柳田神社「清道」*Kushida Shrine "Seidoh"*

オッショイ

祝い目出度の
若松様よ
若松様よ
枝も
栄ゆりや
葉も
繁（しゅげ）る
エーイーショーエー
エーイーショーエー
ショーエー
ショーエー
ションガネー
アレワイサソー
エサソエー
ショーンガネー

博多祝い唄

Simohigoshi,Hiroto

1965年、鹿児島生まれ。
15歳の時オリンパスOM10を手にして以来写真に嵌る。
社会人になってしばらくカメラから離れていたが昨今のデジカメブームでカメラ熱が再発し、気がつけばLeicaM6、BESSA T、RICOH GR1sとフィルムカメラばかり。現在は福岡市在住。

PHOTO DATA
RICOH GR1s GR LENS 28mm F2.8
FUJI NEOPAN 1600

記憶の記録

2009.7 ～ 2010.1

通りかかった路地にいたネコ，夏の雲のすきまからこもれる太陽の光，
まさに季節を感じさせる空の色
普段の場所でなにげなくあるものもよく見ると，
とってもミ魅力あふれるものも多いようです。
そのことに気がつくとそのことを鮮明に永く記憶したいと
近頃，思い始めるようになったのでした。
じゃどんな方法がいいのか…
画才があれば絵でも，文才があれば文学でとなるのでしょうが…
ふと考えると自分にはカメラがあります。
こんな素晴らしい道具があれば使わない手はない!!
というわけで時代をカメラでそれらを記録してみました。

旅行先の温泉。人気はまるでなし。貸切状態でした。窓は全開でレンズが曇る気配はありません。

路地で見かけたネコ。気がついたんで
カメラを向けるが逃げる気配なし。

これは朝日です。夕日と区別がつかない朝焼けです。

プロフィール
新井章広（1976年生）
学生時代に写真と出会う。
モノクロームへの世界に
入りたいと
再び画策中です。

カメラ
ペンタックスS2スーパー
55mm f1.8
1963年発売開始と
モノの本にありました。

着色したような色になってしまいました。

今シーズン初の積雪。冠雪した桜島。寒かったり，しばらく使わないと絞りリングの動きが渋くなります。
機械はなんでもある程度使い続けるように心がけます。

しののめぶるう

しののめ

夜明けの薄明かり。
北原白秋「白き花鳥図」の一節に「時は夏、青しののめ、漾漾と雨はしるなり。早や空し、蓮華色。」とある。
梅雨の一日は、この青色から始まった。

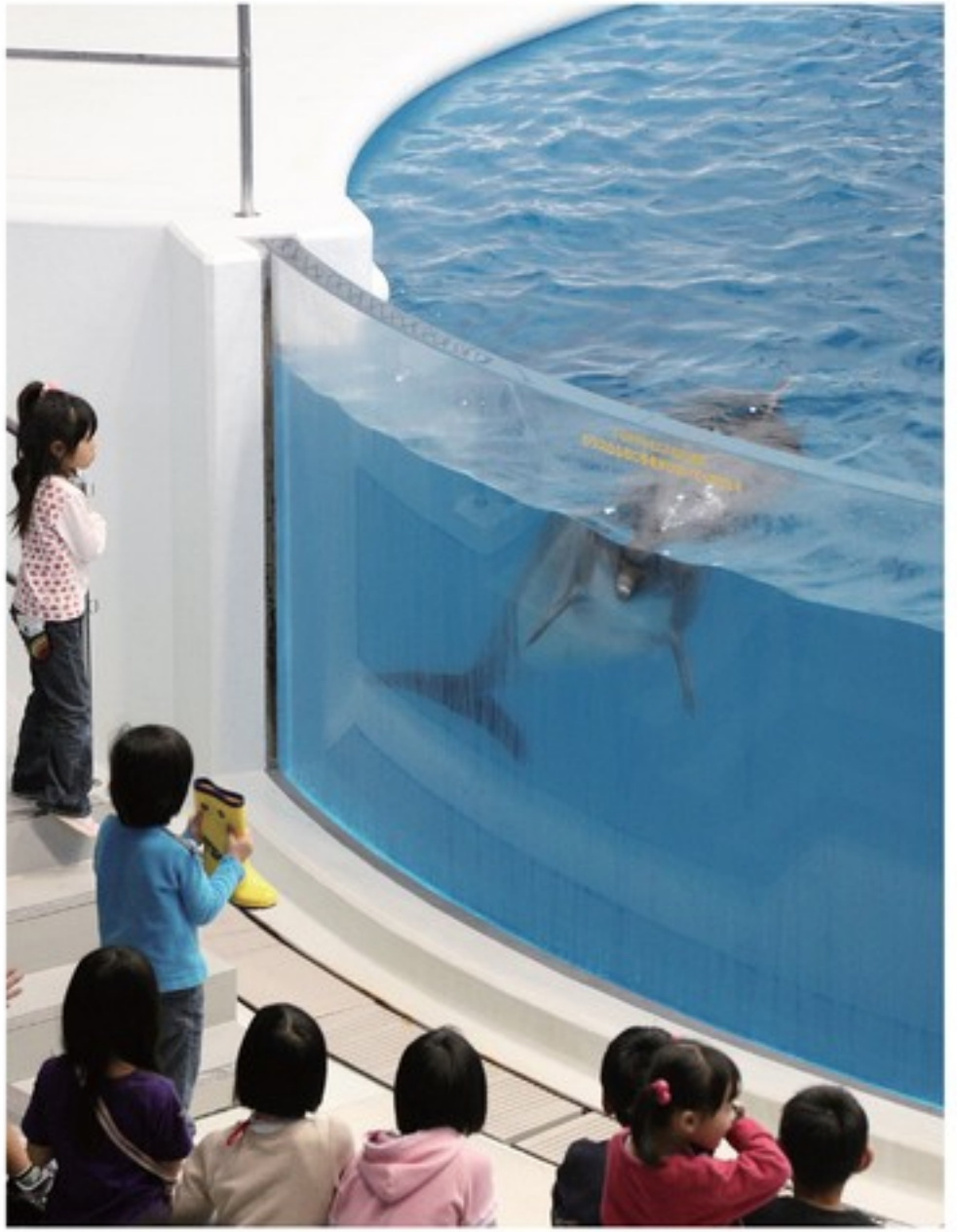
コンタックス T2 T＊ゾナー 38mm/F2.8

レンズバリアーと明るいブライトフレームファインダー。裸でジャケットに収納できるので旅のお供に最適。最短撮影距離0.7mなので、子猫や小物は苦手だが、遠景はマニュアルにてOK。カラーはもちろんモノクロでも立体的で美しい階調が得られる。
最高シャッタースピードはPモードで1／500、絞り優先では1／250。高感度ポジフィルムと晴天の組み合わせでは、露出オーバーになりがち。ファインダーを覗き、シャッターボタン半押しのまま、絞り環をまわして1／125以下に調節し、経験値にもとづき露出補正。そのまま息を止めたまま軽くレリーズする。この繰り返しが写真修行。心を満め旅の思い出をさらに深める。

岡元　剛志
Tsuyoshi Okamoto

別府市

いわずと知れた湯煙り漂う国際温泉都市。別府湾の夜明けの海岸線は静かで美しい。遠方に霞む大分市の海岸を望みながら、カメラを携えての朝の散歩は心地よい。
港の近くには日本一海に近い？小学校、ここにも青色があった。



MATSUSHITA
Photograph Office

コニカ ビッグミニ

ON THE ROAD

DARK ROOM TRIP VOL2

今回紹介する暗室主は、鹿児島モノクロ界の大先輩、山本和男さんです。

山本さんとの出会いは、約二年前、ロクロク展、6×6フォーマットのモノクロ写真展でお会いしたのがお初で、以前からお名前は存じていたのですが、どんな方なのか若干不安ではあったのですが、お会いしてみるととても紳士的な方でございました。

それからというものは当店へ何度も足を運んで頂き、写真・カメラ・暗室等色々とアドバイスして頂きました。

元々は、キャンドルカメラの店主で、多数の方々にモノクロ写真を指導され、引退後も意欲は衰えず今でも暗室作業等を行っているとの事をお聞きしましたので、今回プリントさせて頂きました。

3月の始め、約束場所の銭湯前が分からず街の一角をうろうろしていますと山本さんが走ってこられて私を見付けて下さり、また家の前では奥様が心配して待っておられました。出はじめから山本さん夫妻に面倒を掛けてしまった私。気を取り直し、お宅へお邪魔してますとビックリしたのが、ものすごいたくさんの写真の賞状、トロフィーが飾られていたことです。色々お話を聞かせて頂いたところ、飾っている賞状等ははんの一部みたいで、引き出しにはまだ沢山眠っているみたいです。鹿児島の写真界でこのように大きな賞を頂いてる方は恐らく山本さん以外に成し得られないことだと思います。

早速暗室を拝見させて頂きましたところ、普段は山本さんのお部屋にしている様ですが、引き伸ばし機・セーフティーライトは常時設置して、作業を始める時だけその他の準備をはじめるようです。また窓やロカ等の遮光対策は、暗幕（カーテン等）で済むようですので、大きな設備工事等無くても暗室は作ることが出来るようです。引き伸ばしはラッキー90Mを使用し、延長レールを取り付けて最大半切りがくまで引き伸ばし可能にしております。通常のレールでも四つ切迄プリント可能ですが、山本さんは写真展を開催することも多々ありますので、やはり大きなプリントも必要になることがあり、レールは必須のようです。

また暗室を見渡すと昔懐かしいフジの穴切り箱が壁一面に詰まれ整理されておりました。何うと箱の中には今まで撮影したモノクロネガがビッシリと入っているようで、箱にはいつ撮影したかもちゃんと示されております。

今、モノクロで撮り続けている量のひとつに薩摩焼の里美山地区もあり、一度は美山を撮った写真集も製作されているようです。この日も私が帰ってから、次の写真展に出展するための美山で撮った写真をプリントすると張り切っておられました。

しかし今まで6×6フォーマットのネガは、ウジネオパンプレスト400を使用されていらっしゃったようですが、プレストは今後120㎜サイズ（ブローニー）の打ち切りを決定したので、これからはコダック等を試して、好みの色になるか不安なことも言われておられました。しかし穏やかな山本さんですが、モノクロを語るときの眼は、燃え滾る熱いものを感じますので、色々問題が出てもあまり動じないのではないかと思います。これからも私達のご指導よろしくお願いします。

写真・文　カメラサービス鹿児島　松原

今　写すことの大切さ・・・

"写真だけの結婚式"
貸衣装・御婚礼・ロケーション・成人式等各種記念撮影
鹿屋市打馬1丁目13番6号
TEL　0994-43-8989
フォトサロン松原

オリジナル家具・雑貨　オーダー製作致します。
WOOD DESIGN & CRAFT
鹿屋市下堀町9578-5　きこりたちの店隣り
Tel 090-9606-1606　松原　達郎

カメラサービス鹿児島
〒891-0113 鹿児島市東谷山1-2-3 サンパティーク東谷山2F
TEL/FAX 099-837-8556
http://cs-kagoshima.info/

TOYOTA
レンタリース
鹿児島を観光するならトヨタレンタカー。
トヨタレンタリース鹿児島
099-268-0100
トヨタレンタカー予約センター
0800-7000-111 無料
ウェルキャブ専用
0800-7000-294 無料

編集後記

写真の事なら　フォトファミリー　TEL 099(206)6953
写真　ふじわら
〒890-0056　鹿児島市下荒田3丁目39-12
●記念写真
●カラープリント
●証明写真
●デジカメプリント
☆写真のことなら何でもご相談下さい。

株式会社今村不動産鑑定所
鹿児島市田上台2丁目19番2号 〒890-0036
TEL(099)251-2955
FAX(099)251-2019

松原

今回関係者の皆様には、色々と変更や制限等発生してしまい、誠に申し訳ございませんでした。しかしそのお蔭で素晴らしいマガジンが出来上がったと思っております。これからもカメラ好きに愛されるよう頑張ります。

また参加したい方や興味のある方、別に興味のない方でも構いませんので、是非ご連絡お待ちしております。

O.H.V MOTOR CYCLES etc
VAN
濱口　真
鹿児島県伊佐市大口白木438-2
FAX.0995-22-7443

吉岡

クラシックカメラマガジンを通してカメラの愛好者が多いと知りました。そんな中、ネオパン400プレストのブローニー判の生産終了の知らせを聞いたときは本当にさみしく思いました。魅力的なカメラがまだまだ現役でいるのだからフィルムや印画紙の安定供給が末長く続くことを願う日々です。

開花亭（とんかつ）
【谷山本店】　TEL.099-267-4003
【荒田店】　TEL.099-253-9001
【磯店】　TEL.099-246-2222

大脇

今回より、多くの方に手に取っていただきたいとの思いからフリーマガジンとさせていただきました。ご賛同いただきました広告主様ありがとうございました。赤城先生が参加していただいたことで本の格も向上したのではと思っております。私的には、中身の変更をぎりぎりで行ったのでバタバタしてしまいました。vol. 3も年内の発行を目指しております。メンバーの皆様準備の方よろしくお願いします。別バージョンでハーフサイズのみの写真集も企画中です。お楽しみに。

アナログハロゲンランプ使用鋼版プリンター複合使用のお店として全国誌「CAMERA no.11」に載りました。
うめだカメラ脇田店
〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宙32-2
TEL・FAX 099-256-2688
URL http://www.umd-hope.com/
営業時間／定休日　日曜(月2回)
注文窓口　直接持ち込みの他、Web、電話、FAXにて受付。
料金　・フィルム現像(1本あたり)135-APS—各600円
・プリント料金(1枚あたり)L—30円／HG—40円／2L—100円／6Ω—400円／W6—400円
お店からひとこと　アナログプリント用のペーパーは厚みや光沢感にこだわったものを使用しています。同時プリント時には2L(大)プリントを最大4枚までサービスでお付けします。仕上がりについても細かい注文をお受けします。

2次元読書
「CLASSIC CAMERA Vol.2」ニジドクで好評配信中!!
●フィルムカメラ好きの仲間22人が作成した「CLASSIC CAMERA」のすべてをご覧になることができます。
●その他にも、チラシやカタログ・情報誌など様々なデジタルブックを無料でご覧になることができます。
渕上印刷　ご不明な点は何でもお気軽にご相談ください。　(099)268-1002　(受付時間)平日8時30分～17時30分
詳しくはウェブで。　nijidoku.com
ニジドク　検索